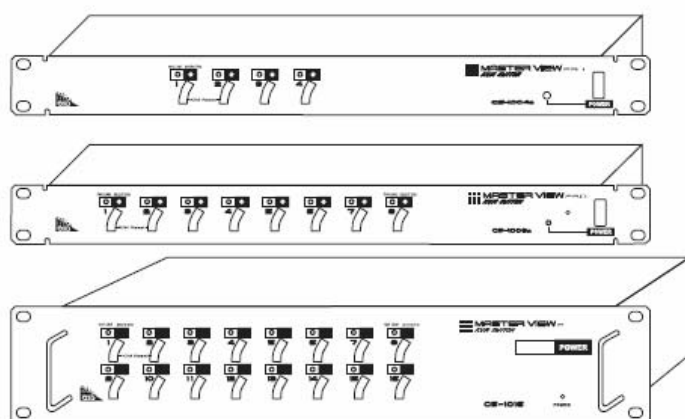


# MASTER VIEW KVM SWITCH



## ユーザーマニュアル

---

CS-1004

CS-1008

CS-1016

## 注意

この装置は FCC(米国連邦通信委員会)規則、パート 15 の副章 J に従い、デジタル装置クラス B の制限事項を満たして設計され、検査されています。この制限事項は、本装置が一般家庭内で取り付けられたときに、有害な電波干渉が発生するのを防ぐために設定されています。また、本装置は高周波エネルギーを使用し、発生させることがあります。この操作マニュアルに従わずに本装置を取り付け、使用した場合、電波通信に有害な障害を起こすことがあります。但し、定められた取り付け方法に従えば、必ず電波障害が起こらないと保証するものでもありません。本装置がラジオまたはテレビの電波受信に有害な障害となっているかどうかは、本装置の電源を入れたり、消したりして、確認してください。また、以下のひとつまたは複数の方法に従って、電波障害の状況を改善されることを推奨いたします。

- ◆ 受信アンテナの向きを変えるか、位置を変えてください。
- ◆ 本装置と受信機の距離を離してください。
- ◆ 受信機が接続されているコンセントと異なる電気回路に本装置のコンセントを差し込んでください。
- ◆ 販売店または、十分な経験を有するラジオ/テレビの技術者にお問い合わせください。



## 同梱品

### 基本パッケージ

以下のものが同梱されているか、ご確認ください。

- ◆ Master View KVM スイッチ(CS-1004、CS-1008 または CS-1016) × 1
- ◆ AC 電源アダプタ × 1
- ◆ ユーザーマニュアル(本書) × 1

上記のアイテムがそろっているかご確認ください。万が一、欠品または破損品があった場合はお買い上げになった販売店までご連絡ください。

本装置と接続されたデバイスの破損を防ぐために、本ユーザーマニュアルをご使用前によくお読みになり、正しい手順に従ってインストールし、ご使用ください。

© Copyright 2002 ATEN® International Co., Ltd.

Manual Part No.PAPE-0210-1AT

Printed in Taiwan 12/2002

製品名等は、各社の商標または登録商標です。

# 目次

CS-1004	1
CS-1008	1
CS-1016	1
本マニュアルについて	6
マニュアル表記について	6
第 1 章	7
製品概要	7
製品特長	8
必要ハードウェア環境	8
コンソール	8
コンピュータ	8
ケーブル	8
製品各部説明	10
フロントパネル	10
第 2 章	12
単体接続(1 台のみの導入)	12
デジチェーン接続	14
第 3 章	16
ホットプラグ	16
電源オン/電源オフ、再起動	17
ポート切替	18
第 4 章	19
OSD 概要	19
ポートナンバー	20
OSD ナビゲーション	20
OSD メイン画面説明	21
ファンクションキー	21
◆ F1 GOTO	21
◆ F2 SCAN	22
◆ F3 LIST	22
◆ F4 QV	23
◆ F5 EDIT	23
◆ F6 SET	24
◆ F7 BRDCST	26
◆ F8 PRV ON / F9 NXT ON	26
◆ メーカー初期設定	27
◆ OSD セキュリティ	27

付録 .....	28
トラブルシューティング .....	29
製品仕様 .....	30
製品保証規定 .....	31

## 本マニュアルについて

このユーザーマニュアルは CS-1004/CS-1008/CS-1016 に関する情報や使用法について説明しており、取付け配置方法、操作方法の全てを提供しています。マニュアルの構成については下記をご参照ください。

- 第 1 章 はじめに: CS-1004/CS-1008/CS-1016 導入の目的・機能・利益の紹介、またフロント・リアパネルについて説明します。
- 第 2 章 ハードウェア セットアップ: CS-1004/CS-1008/CS-1016 のセットアップ方法および基本操作について説明します。
- 第 3 章 ホットキー操作: CS-1004/CS-1008/CS-1016 のホットキー操作について説明します。
- 第 4 章 ファームウェアアップグレードユーティリティ: CS-1004/CS-1008/CS-1016 用ファームウェア最新版が公開されたときのアップグレード方法について説明します。
- 付録 マニュアル末尾には CS-1004/CS-1008/CS-1016 についての技術情報およびその他の重要事項についてまとめてあります。

## マニュアル表記について

[     ]                      入力するキーを示します。例えば[Enter]はエンターキーを押します。複数のキーを同時に押す場合は、[Ctrl] + [Alt]のように表記してあります。

1.                              番号が付けられている場合は、番号に従って操作を行ってください。

◆                              ◆印は情報を示しますが、作業の手順を意味するものではありません。

→                              矢印は操作の手順を示します。例えば Start → Run はスタートメニューを開き、Run を選択することを意味します。

                              重要な情報を示しています。

# 第 1 章 はじめに

## 製品概要

---

master view™ CS-1004/ CS-1008/ CS-1016 KVM スイッチは 1 組のコンソール(キーボード、モニタ、マウス)で多数のコンピュータにアクセスすることができるようにするコントロールユニットです。master view™が開発される前は、複数台のコンピュータを 1 組のコンソールで操作することができる唯一の方法は、複雑でコストがかかるネットワークシステムの導入しかありませんでした。master view™ CS-1004/ CS-1008/ CS-1016 を導入すれば、低コストでとても簡単に複数のコンピュータを操作できるようにします。

master view™ CS-1004/ CS-1008/ CS-1016 は、それぞれ 4 台/8 台/16 台のコンピュータをコントロールすることができます。また CS-1004/ CS-1008/ CS-1016 はデジタイゼーション接続に対応しています。最大 32 台の master view™ KVM スイッチを導入し、それぞれ 128 台、256 台、512 台までのコンピュータを 1 組のコンソールで操作することが可能です。

セットアップは簡単でスピーディです。ケーブルをそれぞれの適切なポートに接続するだけで導入作業が完了します。ソフトウェアやドライバのインストールも不要、互換性の問題に悩まされることもありません。master view™ CS-1004/ CS-1008/ CS-1016 は一般的な PS/2 タイプキーボードのエミュレーションを行いますので、多くのハードウェア・プラットフォームでご使用いただけます。

ポート切替えは、3 通りの便利な方法で行います。

1. 製品フロントパネルのポート選択ボタン
2. キーボードからのホットキー入力
3. OSD(オンスクリーンディスプレイ)のメニュー選択

また接続されたコンピュータを自動的に切り替えてモニタリングできるオートスキャン機能も搭載しています。

master view™ CS-1004/ CS-1008/ CS-1016 の導入より時間とコストの節約になる方法はありません。接続されたすべてのコンピュータに 1 組のコンソールでアクセスして操作できるため、以下のような効果を得ることができます。

- ◆ それぞれのコンピュータにキーボード、マウス、モニタを購入する費用を削減
- ◆ 余分なスペースを取らず、スペースの有効利用が可能
- ◆ 省電力
- ◆ コンピュータから他のコンピュータへと絶えず動き回る無駄な労力を削減

## 製品特長

---

- ◆ 1組のコンソールで4台(CS-1004)/8台(CS-1008)/16台(CS-1016)のコンピュータを操作可能
- ◆ 同シリーズを最大32台までデジチェーン接続することで1組のコンソールで最大128台(CS-1004)/256台(CS-1008)/512台(CS-1016)までのコンピュータを操作可能
- ◆ Microsoft Intellimouse™、Logicoool Firstmouse™他、スクロールホイール付きマウスに対応
- ◆ PS/2 キーボード・マウスエミュレーション対応
- ◆ ポート選択方法-プッシュボタン、ホットキー
- ◆ OSD 機能
- ◆ コンピュータを切替えても Caps Lock、Num Lock、Scroll Lock の状態を記憶
- ◆ VGA 解像度-最大 1,920 × 1,440 ; DDC2B 準拠
- ◆ オーディオ(マイク、スピーカー)対応

## 必要ハードウェア環境

---

### コンソール

- ◆ 接続するコンピュータの解像度に適した VGA、SVGA またはマルチシンク対応モニター
- ◆ PS/2 キーボード
- ◆ PS/2 マウス

### コンピュータ

接続するコンピュータが以下の装置を搭載している必要があります。

- ◆ VGA、SVGA またはマルチシンクカード
- ◆ PS/2 マウスポート(ミニ DIN 6 ピン)、もしくは DB-9 のマウスポート(標準シリアル)
- ◆ PS/2 キーボードポート(ミニ DIN 6 ピン)、または AT キーボード(DIN 5 ピン)

### ケーブル

規格外のケーブルを使用すると、接続機器を破損することや、機器の性能を低下させることがあります。理想的な状態でデータ転送を行うためにも、またシステムのレイアウトを単純化させるためにも、以下の CS-1004/ CS-1008/ CS-1016 対応 CS ケーブルをご使用になることを推奨いたします。

コネクタータイプ	CS カスタムケーブル
AT(5ピン DIN)キーボード/シリアルマウス	2L-1701P & キーボード・マウスアダプタ
PS/2(6ピン mini-DIN)キーボード/マウス	2L-1701P
デジチェーン接続	2L-1700



**注意:**

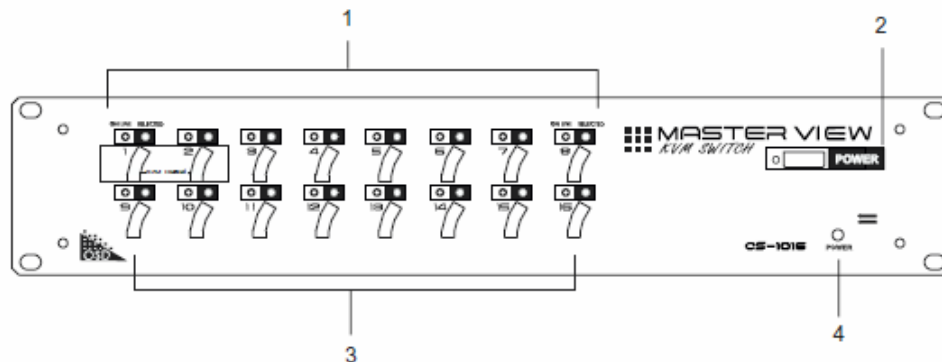
キーボードとマウスケーブルは、それぞれの端は、PS/2 コネクタ仕様です。

- ◆ AT タイプのキーボード使用時は、別売りの PS/2-to-AT キーボードアダプタ(型番: 2A-106)を使用してください。シリアルタイプのマウス使用時は、別売りの PS/2-to-Serial マウスアダプタ(型番: 2A-105 市販の標準アダプタでは動作不可)を使用してください。
- ◆ ピンアサイメントの配線理由により、Serial-to-PS/2 アダプタとの組み合わせは不可。ケーブルの両端の先端にアダプタを付け、市販のシリアル延長ケーブルの使用はできません。

# 製品各部説明

---

## フロントパネル



※図は、CS-1016 のフロントパネルです。他のモデルとの違いは、ポートセレクトスイッチの数になります。

### 1. ポート LED

**オンライン LED:** オレンジの LED ランプ点灯にて、接続されているコンピュータの電源オンの状態を示します。

**選択ポート LED:** グリーンの LED ランプ点灯にて、現在選択されているポートを示します。

### 2. 電源スイッチ

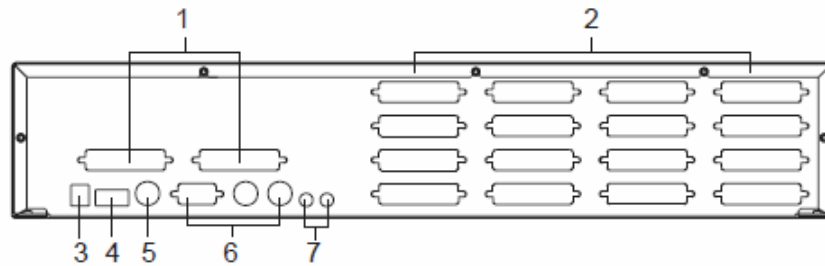
### 3. ポート選択ボタン

- ◆ スイッチを押すことにより選択されたポートに切替わります。
- ◆ 1 と 2 のボタンを同時に 3 秒以上押すことにより、キーボードおよびマウスをリセットします。

### 4. 電源 LED

オレンジの LED ランプが点灯しているときはユニットが電源供給を受けていることを示します。

## リアパネル



※図は、CS-1016 のリアパネルです。他のモデルとの違いは、CPU ポートの数になります。

### 1. デイジーチェーンセクション

デイジーチェーン接続時に専用ケーブルを接続します。

### 2. CPU ポートセクション

接続するコンピュータからのプラグをここに接続します。

### 3. 電源ジャック

電源アダプタからのケーブルをここに接続します。

### 4. ディップスイッチ

SW1～5: ステーションナンバーをセットします(詳細は P.28 を参照)。

### 5. リンク

予備のリンクポート: 現在なにも機能は割り当てられていません。

### 6. コンソールポートセクション

このユニットが 1 段階目の場合は、モニター、キーボード、マウスのプラグをここに接続します。

### 7. マイクとスピーカージャック

マイクとスピーカのプラグをここに接続します。

## 第 2 章

# ハードウェアセットアップ

### セットアップの前に



1. 今から接続する装置すべての電源がオフになっていることを確認してください。キーボード起動機能がついている場合は、コンピュータの電源ケーブルも抜いてください。
2. コンピュータやデバイスへのダメージを避けるために、接続されているすべてのデバイスが正しくアースされていることを確認してください。

### 単体接続(1 台のみの導入)

---

1 台での導入は、ユニット単体の 1 段階(デ이지チェーンなし)で使します。以下の手順に従いセットアップ作業を進めてください。

1. DIP スイッチを 1 段階の設定にするため、SW1～5 すべてが ON の位置にあることを確認してください(詳細は P.28 を参照)。
2. ユニットのコンソールポートにキーボード、マウス、モニタのコネクタを接続してください。それぞれのポートは、アイコン表示にて接続先を確認していただけます。
3. P.13 の図を参照しながら、KVM ケーブル(CS カスタムケーブル: 2L-1701P シリーズ)を使用するコンピュータ側のモニター・キーボード・マウスの各ポートに接続します。その後、ユニットの CPU ポートに接続します。

#### 注意:

Chain in/Chain out の各ポートは使用しません。このポートはデ이지チェーン接続をする時に使します。詳細に関しては次の項を参照してください。

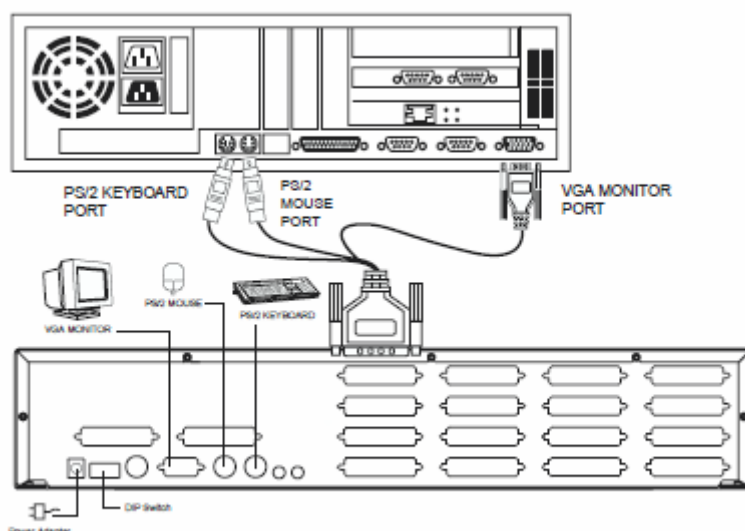
4. 電源アダプタをコンセントに接続してください。その後、電源アダプタケーブルの先端をマスタービューのパワージャックに接続します。
5. マスタービューの電源をオンにします。ユニット起動時にはセルフテストが稼動し、何か問題が発生した時には、LED ライトの 1～4 にて表示されます。詳細は下記を参照してください。以下の問題発生時には、一度電源をオフにして、その後オンにしてください。

LED パターン	エラー内容
1～4 同時点滅	内部 RAM メモリエラー
1～4 交互点滅	外部 RAM メモリエラー
1+2 と 3+4 が交互点滅	ROM テストエラー

6. コンピュータ側を起動します。

**注意：**

コンピュータ側の電源をオンにする前に、マスタービュー-KVM スイッチ側の電源をオンにしてください。



## デイジーチェーン接続

---

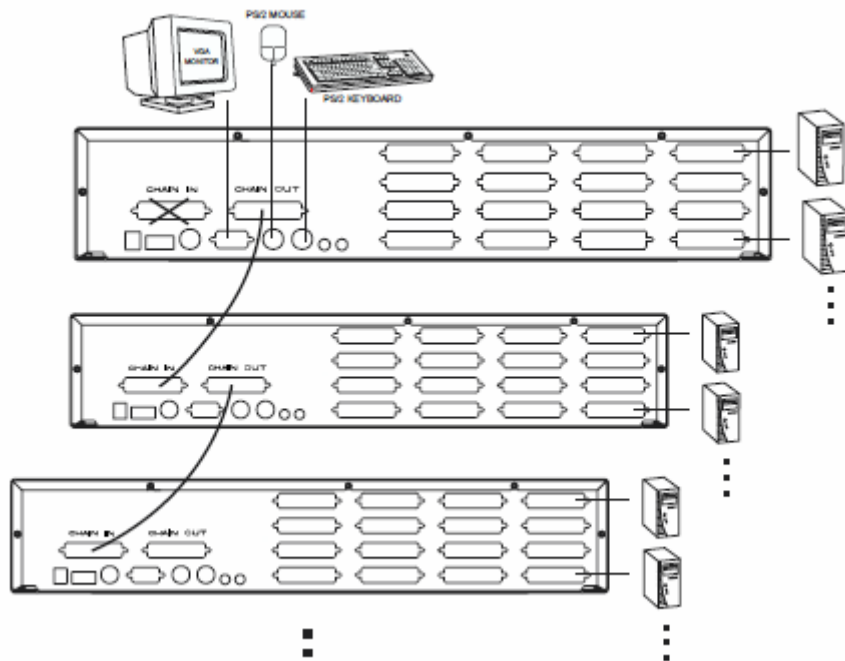
多数のコンピュータを管理するため、master view™ はデイジーチェーン接続により最大 32 台のユニットを接続できます。master view™ 1 段階目のユニットにデイジーチェーン接続されたユニットを 2 段階目と見なします。2 段階までのそれぞれの機種ごとの、最大接続コンピュータ台数は CS-1004/最大 8 台、CS-1008/最大 16 台、CS-1016/最大 32 台となります。操作可能なコンピュータ台数の詳細は P.24 の表を参照してください。

2 段階以上の導入は以下の手順に従いセットアップ作業を進めてください。

1. 1 台のみの導入時と同様に、電源オフの状態で、すべてのデバイスとケーブルを接続します(1 段階目のユニットも電源オフを確認してください)。
- 2.
3. 1 段階目のユニットは、DIP スイッチの SW1～5 すべてが ON の位置にあることを確認してください(詳細は P.28 を参照)。
4. 2 段階目(3 段階目,4 段階目…)のユニットも、DIP スイッチの SW1～5 を、P.28 の表を参照し設定してください。
5. デイジーチェーンケーブル 2L-1700(P.9 ケーブル欄を参照)を使用します。上流になるユニットの Chain Out ポートに接続し、下流になるユニットの Chain In に接続します(1 段階目 Out → 2 段階目 In → 2 段階目 Out → 3 段階目 In…)

**注意:**

最上流となる 1 段階目のユニットは Chain In ポートは使用しません。



6. KVM ユニットに接続されたケーブルセット(P.9 を参照)をコンピュータ側の各ポートへ接続します。電源オンにするときは、以下の基本ルールに従ってください
- a) デイジーチェーン接続された、最も下流のマスタビューの電源をオンにし、その後、上流のマスタビューの電源をオンにします。
  - b) コンピュータの電源オンにする前に、すべてのマスタビューは電源オンの状態であるか確認してください。

**注意：**

電源オンにする過程は、2 段階目以降の下流にあたるユニットから電源オンにする必要があります。2 段階目以降のすべてのユニットが電源オンになった後に、1 段階目のユニットの電源をオンにします。すべての KVM ユニットの電源がオンであることを確認後、コンピュータ側の電源をオンにします。

# 第 3 章

## 基本操作

### ホットプラグ

---

master view™ はホットプラグに対応しています。コンポーネントはシャットダウンせずにスイッチへの接続・取り外しが可能です。コンピュータ側ポート、コンソール側ポートそれぞれのホットプラグは以下の手順に従って行ってください。

#### ◆ CPU ポートのホットプラグ

CPU ポートのホットプラグを行うには：

1. ケーブルは必ず元の接続されていたポートに接続してください。
2. マウスケーブルは必ずキーボードより先に接続してください。
3. 各ケーブルを接続しなおした後、カスケード接続の上位ユニットの KVM リセット（フロントパネルリセットボタンを押して 3 秒以内に離すウォームリセット）を行ってください。

#### ◆ コンソール側ポート ホットプラグ

ユニットはコンソール側ポートのホットプラグに対応しています。

1. マウスのホットプラグを行う場合は、必ず同じ型番のマウスを接続してください。
2. 異なる機種のマウスを使用する際には、すべての構成の電源をオフにし、10 秒以上待ってから電源を再投入してください。詳細は P.17 の電源投入の項目をご参照ください。

#### 注意：

ホットプラグ後（または他の場合でも）、マウスやキーボードが反応しない場合は、1 段階目にあるユニットの 1 と 2 のポートセレクトボタンを同時に 3 秒以上押し、キーボード・マウスリセットをしてください。



## 電源オン/電源オフ、再起動

---

### ◆ 電源オン

コンピュータ側の電源オンにする前に、マスタービューの電源オンにします。

### ◆ 電源オフ

構成の中の master view™ やコンピュータを取り外す必要がある場合は、再接続の前に以下の手順に従って電源オフ、再投入を行ってください。

1. ユニットに接続されたすべてのコンピュータの電源をオフにします。他のデジチェーン接続されているユニットの電源オフにする場合も同様にコンピュータの電源をオフにします(すべての接続されているユニットと、それらに接続されているすべてのコンピュータを含みます)。

**注意:**

キーボード起動機能がついているコンピュータが接続されている場合は、そのコンピュータの電源アダプタも抜かなければいけません。そうしないと電源が供給されている状態のままになっています。

2. ユニットに接続した AC 電源アダプタを抜いてください。

3. ユニットへの電源アダプタ再接続は 10 秒以上待ってから行ってください。

4. すべての master view™ ユニットの電源がオンになった後で、接続された最も下流の段階のコンピュータから電源をオンにしていきます。電源をオフにしたときと同じ順序で電源をオンにしてください。

**注意:**

電源オフにしたユニットの上流にある、ユニットやコンピュータは電源オフや再起動させる必要はありません。

## ポート切替

---

master view™ は接続したすべてのコンピュータを 2 つの方法で簡単に切替え可能です。

### ◆ 手動によるポート切替

master view™ のフロントパネルにあるポートセレクトスイッチを押して切替えます。スイッチを押した後、切替わったセレクトスイッチの LED が点灯表示されます。また OSD(詳細は P.19 を参照)も自動的に選択したコンピュータを表示し切替わります。

注意:

1. ポートセレクトスイッチを押した場合、選択したポートの LED が点灯します。OSD も同様に選択したポートを自動表示します。
2. デイジーチェーン接続されたユニットに接続されたコンピュータに切替えるには、選択したいポートセレクトスイッチを直接押さなければなりません。

### ◆ OSD によるポート切替

OSD(オンスクリーンディスプレイ)は、スイッチに接続されているコンピュータをリスト形式で表示します。このリスト表示をマウスでクリックする、またはポート ID を直接入力することによってコンピュータにダイレクトに切り替えることができます。OSD 操作の詳細については P.19 第 4 章 OSD 操作をご参照ください。

# 第 4 章

## OSD 操作

### OSD 概要

OSD (オンスクリーンディスプレイ) はメニュー形式で表示され、KVM スイッチに接続されているコンピュータの操作・切替を行う機能です。すべての操作は OSD メインスクリーンから始めます。OSD メイン画面を表示するには、同じ側(左側もしくは右側)の[Ctrl]キーを 2 回押します。

#### 注意:

1. キーは同じ側のキーを押さなくてはなりません(2 回とも左側または 2 回とも右側)。
2. 他のキーとの組み合わせでは機能しません。または、左側と右側の[Ctrl]キーの組み合わせでも機能しません。例えば、左側と右側の[Ctrl]キーを同時に押すことは、[Ctrl]キーをロックさせることになります。
3. 任意に[Scroll Lock]キーにホットキーを変えることもできます(P.24 を参照)。その場合は、[Scroll Lock]キーを 2 回押してください。

OSD をスタートすると、下記と同様な画面が表示されます:

F1 : GOTO	F4 : QV	F7 : BRDST	X
F2 : SCAN	F5 : EDIT	F8 : PRV ON	
F3 : LIST	F6 : SET	F9 : NXT ON	
LIST : ALL			
SN - PN	QV	PC	NAME
01 - 14	▲	●	DENNIS
01 - 15	▲		
01 - 16	▲	●	JOSH
02 - 01		●	HUGO
02 - 02	▲		
02 - 03	▲		TOM
02 - 04		●	JIMMY
02 - 05	▲		RJ

- ◆ OSD は常にリスト画面が表示され、最後に閉じた同じポジションにハイライトバーが選択されています。
- ◆ 接続されたコンピュータのポートナンバー(PN)は、リスト画面左側に表示されます。
- ◆ ポートナンバーの詳細と、OSD のナビゲーション方法は次のセクションを参照してください。

## ポートナンバー

---

master view™ に接続されたコンピュータは、2 つのパートからなるポートナンバー(PN)にて表示されます。最初の番号(ハイフンの前)は、master view™ のステーション番号(何段階番号)で、次に番号(ハイフンの後)は、master view™ に接続されたコンピュータのポートナンバーです。例えば、5 段階目の master view™ の 11 番のポートに接続されている場合の表示は、05-11 になります。

## OSD ナビゲーション

---

- ◆ メニューを閉じて OSD を終了するには、OSD メイン画面右上にある × マークをクリックするか、[Esc]キーを押してください。
- ◆ リスト表示の上下の行に移動したい場合は、三角マーク(▲▼)をクリックするか、キーボードの上下の矢印キーを押してください。表示されているリスト以外にも多くのエントリがある場合には、リスト画面がスクロールします。
- ◆ リスト表示の画面を上下に切り替えたい場合は、矢印マーク(↑↓)をクリックするか、キーボードの[Page Up] [Page Down]キーを押してください。表示されているリスト以外にも多くのエントリがある場合には、リスト画面がスクロールします。
- ◆ KVM 操作するポートを切替える場合は、リスト画面でクリックするか、ハイライトバーを移動させて[Enter]キーを押してください。
- ◆ 何らかのアクションを実行したあとは、自動的に一段上のメニューに戻ります。

## OSD メイン画面説明

見出し	説 明
SN-PN	この項目はポート ID ナンバー(ステーション番号-ポート番号)になり、CPU ポートに接続されたすべてのコンピュータを表示します。簡単に指定したコンピュータに切替えるには、ハイライトバーを切替えたいコンピュータに移動し[Enter]キーを押します。
QV	クイックビュー時に表示するポートを選択(詳細は P.22 と P.23 を参照)すると、QV の項目には矢印が表示されます。
PC	電源がオンになっていて、かつオンラインになっているコンピュータを表示します。
NAME	ポートに対して名前を登録(ポート名前編集の詳細は、P.23 を参照)した場合、この項目にポート名前が表示されます。

## ファンクションキー

ファンクションキーを押すことによって、OSD 操作に関する以下のような設定を行います。

- 任意のポートへのクイックアクセス
- 特定のポートのオートスキャン
- ポートへのアクセス権限の設定
- クイックビューポートの設定
- ポート名前の編集
- OSD 設定

## ◆ F1 GOTO

F1 GOTO 機能は以下の二通りの方法でポート切替えが可能です。

- a) 切替えたいポートにハイライトバーを移動して[Enter]キーを押します。
- b) ポート ID 番号または名前を入力し、それから[Enter]キーを押します。

### 注意:

ポート名前、もしくはポート ID の頭文字を入力すると、条件に当てはまるポートがリスト表示されます。

選択をしないで OSD 画面メインメニューに戻るには、[Esc]キーを押してください。

## ◆ F2 SCAN

F2 SCAN を押すと、オートスキャンモードが呼び出せます。この機能は一定間隔にて設定されたコンピュータ(詳細は下記 P.22、P.24 を参照)を自動的に切替えて表示することができます。スキャンをストップしたいときは、[Space]キーを押してストップしてください。

### 注意:

1. もし空いているポートでスキャンをストップした場合、または電源がオフの接続コンピュータのポートでストップした場合、モニタ表示はブランクになり、マウスとキーボードは使用不可になります。使用可能状態に戻すには、接続されたアクティブなコンピュータのポート ID (詳細は下記 F3 説明を参照)を入力してください。
2. それぞれのコンピュータに切替えると、ポート ID 番号の前に S マークが表示されます。これはクイックビュースキャンモード時に表示されたことを示しています。

## ◆ F3 LIST

この機能を用いて、OSD がメイン画面に表示するポートの範囲を設定することができます。OSD フังก์ションの多くは、メイン画面のリストに表示されている中から、選択されたコンピュータだけを操作します。下記の表は、サブメニュー画面の選択肢とその意味です。

設 定	機 能
ALL	コンピュータが接続されているポート全てをリストアップします。
QVIEW	クイックビューポート(P.23 参照)として選択されたポートをリストアップします。
QVIEW+POWERD ON	クイックビューポート(P.23 参照)として選択され、かつ電源がオンのコンピュータが接続されたポートをリストアップします。
QVIEW+NAME	クイックビューポート(P.23 参照)として選択され、かつポート名(P.23 参照)が設定されているコンピュータが接続されたポートをリストアップします。
NAME	ポート名(P.23 参照)が設定されているコンピュータが接続されたポートをリストアップします。
POWERD ON	電源が入っているコンピュータに接続されているポートをリストアップします。

ポートを選択するには、リストでハイライトバーを移動して[Enter]キーを押してください。切替わるとアイコンが現われ、現在選択したポート ID を表示します。

**注意：**

1. ナビゲーションキーを使用すると、リストのどのポートにも選択することができ、その後[Enter]キーを押すと切替わります。
2. 選択したポートにコンピュータが接続されていなかった場合、あるいは接続されたコンピュータが電源オフだった場合も OSD はそのポートに切替わり、エラーは表示されません。

## ◆ F4 QV

---

クイックビュー機能はユーザが選択できるポートの範囲やオートキャン機能(P.22 を参照)のスキャン範囲を設定することができます。本機能はポートの登録・除外に使用します。ポートを登録・除外するには、キーボード/マウスでポートを選択し [F4]キーを押します。

ポートがクイックビューに登録されている場合、三角マークが QV 項目に表示されます。ポートが選択されていない場合、三角マークは表示されません。

## ◆ F5 EDIT

---

本機能はポート名を作成/修正/削除することが可能です。ポート名の編集方法は以下のようになります。

- a) 編集したいポートにハイライトバーを移動します(ポート選択リストの範囲を制限したい場合は P.22 を参照)。
- b) [F5]キー押します。
- c) 新規ポート名を入力します。また登録済みのポート名を修正/削除します。ポート名に使用できる文字数は最大 15 文字です。使用可能文字は以下の通りです。
  - ◆ すべてのアルファベット: A～Z
  - ◆ すべての数字: 0～9
  - ◆ +、-、/、:、.、スペース
- d) 編集が終了したら、[Enter]キーを押して変更を有効にします。もしくは[Esc]キーを押して変更を無効にしてください。

## ◆ F6 SET

F6 SET では OSD の設定内容を変更することができます。

- a) 任意のポートにハイライトバーを移動後[Enter]キーを押します。
- b) 表示されたサブメニューの任意項目にハイライトバーを移動後[Enter]キーを押します。

各設定項目についての説明は下記のリストを参照してください。

設 定	機 能
PORT DISPLAY MODE	ポート ID の表示方法を設定します。 PN+NAME: ポート番号+ポート名 PN: ポート番号のみ NAME: ポート名のみ
PORT DISPLAY DURATION	ポート切替え後のポート ID 表示時間を設定します:。 3 Seconds: 3 秒間 Always On: 常に表示
PORT DISPLAY POSITION	スクリーン上のどの位置にポート ID を表示するか設定します。矢印、Page Up、Page Down、Home、End、5(Num Lock をオフにしたテンキー)を使用し、ポート ID 表示の位置を移動させ、[Enter]キーを押して位置を固定します。
SCAN DURATION	クイックビューで登録したポートを循環(オートスキャン)する際の表示間隔を設定します。 オプション: 3,5,10,15,20,30,40,60 秒
PASSWORD	ユーザのパスワードをセットします: 1. ハイライトバーを User または、Administrator の位置に移動し[Enter]キーを押してください。パスワード入力画面が表示されますので、8 文字以内のパスワードを入力してください。使用可能文字はアルファベットと数字の組み合わせになります(A~Z、0~9)。 2. 新しいパスワードを入力し、[Enter]キーを押すと、パスワードの確認画面が表示されますので、再度同じパスワードを入力します。 3. 再度同じパスワードを入力し [Enter]キーを押すと、2 回入力したパスワードが同じ場合は、パスワードは設定されます。2 回入力したパスワードが正しくない場合は、再度設定のやり直しになります。パスワードを編集、消去する場合は [Backspace]キーを使用し文字を削除します。尚、パスワードによって制限可能なユーザ操作以下の通りです。詳細は次項 OSD セキュリティ設定セクションのパスワード設定を参照ください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ Name List の消去</li> <li>・ 設定の初期化</li> <li>・ コンソールのロック/アンロック設定</li> </ul>

(この表は次ページに続く)



(F6 SET の続き)

設 定	機 能
OSD ACTIVATING HOTKEY	OSD を起動するためのホットキーを設定します。[Ctrl][Ctrl]または[Scroll Lock][Scroll Lock]に設定可能です。デフォルト設定では[Ctrl]キーになっていますが、使用するコンピュータのソフトウェアなどで[Ctrl]キーを使用する場合は[Scroll Lock]キーに変更してください。
LOCK CONSOLE (TOGGLE)	コンソールをロック/アンロックします。コンソールをロックした場合、現在選択されているポートのスクリーンのみがモニタに表示されます。コンソールからの入力、コンソールによるポートに切替え、手動切替えスイッチによるポート切替えも不可になります。再度コンピュータにアクセスする場合はコンソールのアンロックをしてください。パスワードが設定済みの状態でコンソールをロック/アンロックするにはパスワード入力が必要です。パスワード未設定の場合は[Enter]キーを押すことでコンソールをロック/アンロックします。
CLEAR NAME LIST	ポート名リストからすべてのポート名を消去します。ポート名消去を実行する前に確認メッセージが表示されます。[Y]キーを入力後[Enter]キーを押すとポート名のリストを表示します。ポート名を消去中は消去していることを示すメッセージが表示されます。ポート名消去が完了した場合、消去に成功したことを示す別のメッセージが表示されます。 注意: <ul style="list-style-type: none"> <li>本機能を実行中はコンソールからその他の操作はしないようにしてください。</li> <li>パスワードが設定済みの場合、この設定に実行するためにはパスワードの入力が必要です。OSD セキュリティ (P.27 を詳細)をご覧ください。</li> </ul>
RESTORE DEFAULT VALUES	すべての設定をメモリーから消去し、ユニットを初期設定に戻します(P.27 を参照)。初期設定に戻す前に確認のメッセージが表示されます。[Y]のキーを入力後[Enter]を押すと初期設定に戻ります。初期化中は初期化していることを示すメッセージが表示されます。設定が初期化されたのち、初期化に成功したことを示す別のメッセージが表示されます。 注意: <ul style="list-style-type: none"> <li>パスワードが設定済みの場合、この設定に実行するためにはパスワードの入力が必要です。OSD セキュリティ (P.27 を詳細)をご覧ください。</li> </ul>

## ◆ F7 BRDCST

---

ブロードキャストモードは、すべてのアクティブなコンピュータの同時操作を可能にする機能です。本機能によりソフトウェアのインストールやアップデート作業を効率的に行えます。ブロードキャストモードを実行する際は下記の操作に従ってください。

1. [F7]キーを押してください。ブロードキャストのマークがポート ID 画面に表示され(ポート ID が表示可能な設定の場合)ブロードキャストモードになります。
2. ブロードキャストモード時に、任意の操作をすると接続されたすべてのコンピュータで同時に実行されます。
3. ブロードキャストモードを終了するには、OSD を表示し[F7]キーを押してください。終了後、ブロードキャストのマークはポート ID 画面から消えます。

**注意:**

ブロードキャストモード実行中はマウスを使用することができません。

## ◆ F8 PRV ON / F9 NXT ON

---

PRV ON/NXT ON 切替えは、接続されたアクティブ状態のコンピュータを素早く切替える機能です。

- ◆ [F8]キー：前の接続されたアクティブ状態のコンピュータへ切替わります。
- ◆ [F9]キー：次の接続されたアクティブ状態のコンピュータへ切替わります。

## ◆ メーカー初期設定

メーカーの初期設定は以下の通りです。

設 定	初期設定
Display Duration	表示持続時間：3 秒間
Display Mode	表示モード：ステーション番号+ポート番号
Scan Duration	スキャン継続時間：3 秒間

## ◆ OSD セキュリティ

KVM スイッチを導入したシステムに不正アクセスされることを防ぐため、OSD にはパスワードによるセキュリティ設定が可能です。パスワードが設定済みの場合、OSD はユーザがシステムにアクセスする際にパスワードの入力を要求します。パスワードの設定は以下のようになります。

1. [F6]キーを押して設定構成のメニュー画面を表示させます。
2. ハイライトバーをパスワードの設定(Set Password)まで移動して、[Enter]キーを押します。
3. 新しいパスワードを入力して、[Enter]キーを押します。パスワードは 8 文字までの長さで、文字と数字の組み合わせでなければなりません(A～Z。0～9)。
4. 新しいパスワードの確認のため、もう再度入力し[Enter]を押します。新しいパスワードの確認に成功した場合、新しいパスワードが承認され、画面に次のようなメッセージが表示されます。

SET PASSWORD OK

パスワードの確認に失敗した場合、画面に次のようなメッセージが表示されます。

PASSWORD NOT MATCH

上記のメッセージが表示された場合はステップ 1 からやり直してください。

### 注意:

設定後のパスワードを修正したり、削除したりするには、ステップ 1 と 2 のパスワード機能設定にアクセスして、[Backspace]キーか[Delete]キーを使用して、それぞれの文字または数字を削除してください。

# 付録

## ステーション番号表

1 段階目の master view™ (コンソールが接続されているユニット)は、最上流のステーションと見なされます。2 段階目の master view™ は、デイジーチェーン接続され、その下に 3 段階目、4 段階目…順に接続されます。デイジーチェーン接続された各ステーションは、DIP スイッチの SW1～5 によって、ステーション番号が設定されます。DIP スイッチの設定方法は下記表を参照してください

(0 = On; 1 = Off):

Station	SW1	SW2	SW3	SW4	SW5	Station	SW1	SW2	SW3	SW4	SW5
1	ON	ON	ON	ON	ON	17	ON	ON	ON	ON	OFF
2	OFF	ON	ON	ON	ON	18	OFF	ON	ON	ON	OFF
3	ON	OFF	ON	ON	ON	19	OFF	OFF	ON	ON	OFF
4	OFF	OFF	ON	ON	ON	20	OFF	OFF	ON	ON	OFF
5	ON	ON	OFF	ON	ON	21	ON	ON	OFF	ON	OFF
6	OFF	ON	OFF	ON	ON	22	OFF	ON	OFF	ON	OFF
7	ON	OFF	OFF	ON	ON	23	ON	OFF	OFF	ON	OFF
8	OFF	OFF	OFF	ON	ON	24	OFF	OFF	OFF	ON	OFF
9	ON	ON	ON	OFF	OFF	25	ON	ON	ON	OFF	OFF
10	OFF	ON	ON	OFF	ON	26	OFF	ON	ON	OFF	OFF
11	ON	OFF	ON	OFF	ON	27	ON	OFF	ON	OFF	OFF
12	OFF	OFF	ON	OFF	ON	28	OFF	OFF	ON	OFF	OFF
13	ON	ON	OFF	OFF	ON	29	ON	ON	OFF	OFF	OFF
14	OFF	ON	OFF	OFF	ON	30	OFF	ON	OFF	OFF	OFF
15	ON	OFF	OFF	OFF	ON	31	ON	OFF	OFF	OFF	OFF
16	OFF	OFF	OFF	OFF	ON	32	OFF	OFF	OFF	OFF	OFF

## トラブルシューティング

症状	考えられる原因	対処
マウスが反応しない	マウスのリセットが必要	1. 1 段階のユニットの 1 と 2 のボタンを同時に 3 秒間押して、マウス(キーボード)をリセットしてください。 2. コンソールのマウスポートからマウスのコネクタを抜いて再度接続します。
ポート LED1~4 が繰り返し点滅	電源オン後のセルフテスト不可	本マニュアル P.13 を参照してください

## 製品仕様

機能		CS-1004	CS-1008	CS-1016
PC 接続台数	ダイレクト	4	8	16
	最大 (デジチェーン接続)	128	256	512
最大ステーション台数		32		
ポート選択方法		正面のパネルスイッチ、ホットキー、OSD		
LED	電源(オレンジ)	1	1	1
	オンライン(オレンジ)	4	8	16
	選択(グリーン)	4	8	16
コンソール側 コネクタ	キーボード	ミニ DIN 6 ピン メス (PS/2) × 1		
	マウス	ミニ DIN 6 ピン メス (PS/2) × 1		
	モニタ	HDB-15 メス × 1		
	マイクジャック	1		
	スピーカージャック	1		
コンピュータ側コネクタ		DB-25 メス × 4	DB-25 メス × 8	DB-25 メス × 16
電源仕様/消費電力(最大)		DC 9V; 4.5W	DC 9V; 6.4W	DC 9V; 8.6W
スイッチ	DIP スイッチ	6 セグメント、2 ポジション		
	電源スイッチ	On/Off スイッチ		
	ポート選択	4	8	16
スキャンインターバル (OSD 設定)		3、5、10、15、20、30、40、60 秒		
コンピュータ側コネクタ		DB-25 メス × 4	DB-25 メス × 8	DB-25 メス × 16
VGA 解像度		最大 1,920 × 1,440 ; DDC2 準拠		
動作温度		5~40℃		
保管温度		-20~60℃		
湿度		0~80% RH 結露なきこと		
ケース材質		メタル		
重量		2650g	2850g	3750g
外形寸法 (W × D × H) mm		483 × 154 × 44.5 (1U)		483 × 154 × 89 (2U)

## 製品保証規定

本製品および付属のソフトウェア、ドキュメントの使用によって発生した装置の破損・データの損失等の損害に関して、直接的・間接的・特殊な事例・付帯的または必然的であるかを問わず、弊社の損害賠償責任は本製品の代金相当額を超えないものとします。

製品の販売店は、製品および本ドキュメントの使用に関して、品質・機能・商品性および特定の目的に対する適合性について、法定上の、明示的または黙示的であるかを問わず、いかなる表示・保証も行いません。

弊社は製品および付属のソフトウェア・ドキュメントについて、予告なしに改良・改訂を行う権利を有します。詳細については販売店までお問い合わせください。